

事 務 連 絡
令和 7 年 6 月 5 日

公益財団法人日本スポーツ協会 御中

スポーツ庁健康スポーツ課障害者スポーツ振興室

「障害のある方へのスポーツ指導・関わり方 入門ハンドブック」について

平素より、パラスポーツの振興に御尽力賜り厚く御礼申し上げます。

障害の有無に関わらず、運動・スポーツを実施することは、健康の維持、体力の向上等の効果が見込まれます。障害のある方が運動・スポーツを実施するに当たっては、指導者が、障害の有無に関わらず、運動・スポーツを実施する方の特徴を踏まえた多様な指導方法を習得することが重要です。また、このことはインクルーシブな運動・スポーツの実施環境の整備、さらには第3期スポーツ基本計画の目標にも掲げているスポーツを通じた共生社会の実現のために重要です。

また、スポーツ審議会健康スポーツ部会障害者スポーツ振興 WG の最終報告書（令和 6 年 7 月 25 日公表）の提言として、「障害者への指導を専門とはしない指導者等が障害者スポーツへの理解を深めるための研修等の充実」が盛り込まれています。

こうしたことを踏まえ、スポーツ庁では、障害のある方へのスポーツ指導について、今まで機会がなかった方やこれから始める方などに、まず始めに読んでいただきたいものとして、下記 1 に記載の「障害のある方へのスポーツ指導・関わり方 入門ハンドブック」を策定しました。

さらに、令和 7 年度においては、下記 2 のとおり、本ハンドブックを活用した各種研修等を事例集として取りまとめる委託事業を実施予定です。

つきましては、本ハンドブックについては是非ご一読いただき、貴協会が実施するスポーツ指導員養成講習会等におけるご活用について、ご検討頂けますようお願い申し上げます。

併せて、本事務連絡につきまして、貴協会に加盟する各都道府県スポーツ協会及び中央競技団体、貴協会に登録している総合型地域スポーツクラブ及びスポーツ少年団、並びに各講習・試験免除適応コース承認校に対し、周知いただきますようお願い申し上げます。

記

1 障害のある方へのスポーツ指導・関わり方 入門ハンドブックのご活用について

令和6年度に策定した本ハンドブックでは、各種障害の基礎的な情報やポイント・コツ、留意点、事例等を幅広く取りまとめています。また、本ハンドブックを活用することで、障害のある方への指導スキルの向上のみならず、運動の苦手な方への指導や子ども・高齢者への指導等、指導の対象や範囲の拡大にも寄与します。

つきましては、今後実施する各種研修等において、本ハンドブックの積極的なご活用をお願いいたします。

【参考1】障害のある方へのスポーツ指導・関わり方 入門ハンドブック URL

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop06/list/detail/1379526_00004.htm

2 令和7年度スポーツ庁委託事業「パラスポーツ推進プロジェクト（障害のある方へのスポーツ指導等研修会の事例集作成事業）」について（ご協力のお願い）

令和7年度は、スポーツ庁委託事業「パラスポーツ推進プロジェクト（障害のある方へのスポーツ指導等研修会の事例集作成事業）」を実施予定です。

本事業は、以下の①～④のような、障害のある人と関わる、又は今後その可能性のある指導者等に対して行われている研修等について、事例収集を行い、事例集として取りまとめることを目的としています。

- ① 教職員（特別支援学校・特別支援学級に限定するものではなく、小学校・中学校・高校の体育科をはじめ幅広い教師等を想定）
- ② 学生（体育・スポーツ関係、教職課程など）
- ③ スポーツクラブの指導者等（総合型地域スポーツクラブ、民間のスポーツクラブ、スポーツ少年団の指導者等）
- ④ その他（公共体育施設・スポーツ施設職員等、スポーツイベントや大会等のボランティア、医療関係者、福祉関係者等）

以下の要件を満たす研修等がありましたら、下方の担当の連絡先までご連絡いただきますようお願いいたします。

- 令和7年度に実施又は実施予定の研修等であること
 - 上記の①～④のいずれか（単独でも複数でも可）を対象とした研修等であること
 - 本研修等において、上記の1のハンドブックを活用すること（ハンドブックを参考資料として取り扱う場合も対象とする）
 - 令和7年度スポーツ庁委託事業「パラスポーツ推進プロジェクト（障害のある方へのスポーツ指導等研修会の事例集作成事業）」において、事例集として取り上げることに
ついて、御協力が可能であること
- ※ 想定される御協力の例：本事業の受託者による取材対応（受託者に対する研修等

の説明等、受託者の研修等への参加（対応可能な場合のみ）、作成された事例集案の内容の確認

※ 取材にご協力いただける団体には、印刷した本ハンドブックの提供を致します（上限 50 部程度。数に限りがあるため応募多数の場合はご希望に沿えない場合があります）。ご希望あれば、担当までご連絡ください。

【参考 2】令和 7 年度スポーツ庁委託事業「パラスポーツ推進プロジェクト（障害のある方へのスポーツ指導等研修会の事例集作成事業）」 入札公告に係る URL
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/boshu/detail/jsa_00351.html

【担当】

スポーツ庁健康スポーツ課

障害者スポーツ振興室 小野、見供

TEL : 03-5253-4111（内線 4140）

メール : yuuri-ono@mext.go.jp

mitomo@mext.go.jp

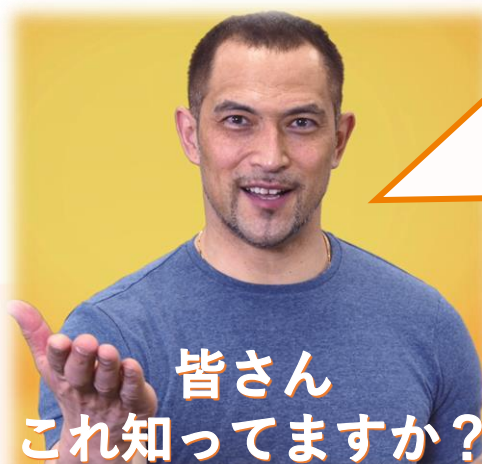


スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

スポーツ指導に携わる方に読んでいただきたい

障害のある方への スポーツ指導・関わり方 入門ハンドブック

ー パラスポーツが持つ可能性 ー



皆さん
これ知ってますか？

障害のある方に初めてスポーツを指導する方や
したい方の**スポーツ指導の入口**として活用下
さい！

障害の有無に関わらず、様々な方々への指導に
も役立つよう作成しました。

また、私が行った、アスリートへのインタビューも
紹介していますので、是非ご覧ください！



スポーツ庁

ハンドブックのダウンロードはこちらから



このハンドブックって？

- 運動・スポーツを行うことは、健康の維持増進や体力の向上、**ライフパフォーマンスの向上**※等の効果が期待されている一方で、障害のある方がスポーツに親しむ機会は十分なものとはなっていません。この背景の一つに、指導者など周囲の障害に関する理解不足も考えられます。
- 本ハンドブックは、障害のあるなしに関わらず、指導者がスポーツを実施する方の**特徴を踏まえた多様な指導方法を習得することで、インクルーシブなスポーツ実施環境の整備**の一助となることを目的に、スポーツ庁において作成したものです。

※ライフパフォーマンスの向上：それぞれのライフステージにおいて最高の能力を発揮できる状態

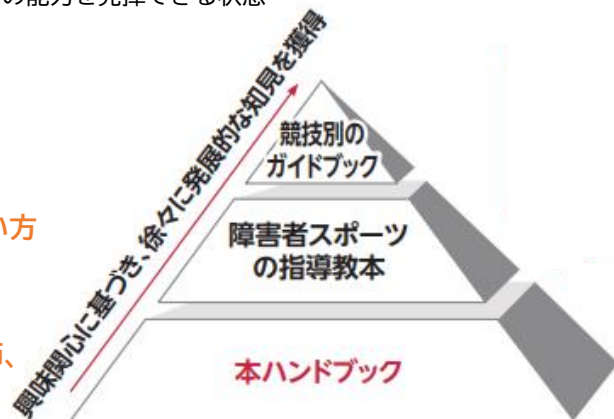


こんな方・こんな時に読んでほしい！

- ✓ 今まで障害のある方のスポーツに関わる機会がなかった方
- ✓ これから障害のある方のスポーツ指導を始める方
- ✓ 日頃活動しているチームやクラブ等で、障害のある方とない方が一緒に参加する時



例えば、地域のスポーツ指導者・ボランティア、学校の教師、リハビリテーション専門職などです。



- 本ハンドブックを**入口**として、障害のある方へのスポーツの指導の興味関心が高まるとともに、障害のある方への指導を通じて、様々なノウハウを得ることにより、**運動の苦手な方や子ども・高齢者への指導等、指導の対象や範囲（年齢や運動レベル等）の拡大**も見込まれます！



ハンドブックの構成は？

第一章	パラスポーツの基本 ・スポーツを実施する効果 ・パラスポーツの現状
第二章	障害のある方へのスポーツ指導の入口 ・スポーツを指導する際の心構え ・スポーツを実施するための環境整備 ・スポーツを実施するための工夫 ・指導対象者とのコミュニケーション ・障害のある方へのスポーツ指導のメリット
第三章	障害のある方へのスポーツ指導の実践 ・各障害の代表的な特徴、指導対象者の特徴を把握する際のポイント、指導のポイント ・【コラム】室伏長官がアスリートの能力の秘密に迫る！ スポーツとの向き合い方や指導者など周囲の人たちから受けた指導・サポートなどについて、室伏長官がアスリートにインタビューした内容の紹介 など



ハンドブックの特徴

- 指導の実践に先立ち、スポーツの価値や効果、指導にあたっての心構えなどを解説
- 第3章「障害のある方へのスポーツ指導の実践」では、6つの障害の種類ごとに、それぞれの障害の特徴や指導方法、安全管理について、「指導のポイント」「指導者へのメッセージ」等として記載
- 室伏長官によるアスリートへのインタビューを含めた事例の紹介や、更に知見を深めるための参考情報も掲載



本ハンドブック作成に当たって協力いただいた方々(五十音順、敬称略)

検討委員 相澤純也（順天堂大学）、太田澄人（長野県障害者福祉センター）、緒方徹（東京大学医学部附属病院）、上出杏里（国立成育医療研究センター）、栗原洋和（日本スポーツ協会）、駒田惇（日本スポーツ協会）、澤江幸則（筑波大学）、瀬尾泰広（東京都教育庁指導部）、高山浩久（東京都障害者総合スポーツセンター）、鳥居昭久（東京保健医療専門職大学）、中澤公孝（東京大学大学院）、中島幸則（筑波技術大学）、細川健一郎（国立障害者リハビリテーションセンター）、三上真二（日本パラスポーツ協会）

オブザーバー（パラスリート） 大西瞳（陸上）、木村敬一（水泳）、手塚圭太（陸上）、豊島英（車いすバスケットボール）



ハンドブックのダウンロードはこちらから

